



## ～教育講演会が行われました～



11月3日(木・祝)に中高合同での教育講演会が行われました。講師として比田井和孝氏(上田情報ビジネス専門学校 副校長)をお招きし、「幸せな人生を歩むためにとても大切なこと」という演題でご講演いただきました。「やり方」よりもその土台となる「あり方」の大切さをお話してくださいました。皆さん自身のこれからの「あり方」考えることができましたか? みなさんのふり返りを一部抜粋して紹介します。

私は今までたくさんの重要な選択をしてきた。そして、たくさんの後悔をしてきた。後悔する度に、自分の選択を責めてきたけれど、もっと努力していれば変わっていたかもしれないという可能性に気付かされた。

…(心に残ったのは)「あなたは可哀想ではない。あなたは不運ではない。あなたは不幸ではない。何が起きても想定内。あなたの幸せに何の影響もない。」という言葉だ。コロナ禍を生きる1人の人として強く心に響いた。コロナに限らず、「目標の途中にある壁」にぶつかることもあると思うけれど、それを乗り越えた私は、以前の私よりもひと回りもふた回りも成長するのだろうと思うと、壁がある道を進める私は幸せ者だと思った。(3年生)

…(「やり方」よりも「あり方が大切だと聞いて)どんな思いで、どんな心構えでやるのかが本当に大切なことだということが分かりました。また、「思ったようになる」と思えば人生は、自分次第でなんとでもなるのだということが胸に刺さり、自分の心でポジティブに考えようと思いました。

そして、今までたくさんの人から言葉を聞かされてきたけれども、そういったものによって自分は成り立っているのではなく、自分の言葉で心で聞かされているものが今の自分の「性格」を作っているということが分かりました。つまり、自分の性格は自分自身にどういった言葉をかけていくかによって変えられるということなのではないかと考えました。(3年生)

ヒダカズ先生の講演を聞き、まず、「やり方」より「あり方」という言葉を聞いて、心が動きました。私は「やり方さえ変えれば」と思ってしまうところがあるので、その考えと真逆で衝撃を受けました。その考えを、自分の今の考えと交換して、何事にも挑戦していきたいと思いました。

ヒダカズ先生の言葉一つ一つを心に置いて、前向きに、いい方向のことを思って、「思ったようになる」人生を楽しんでいきたいです。(1年生)

…どうしたらこの状況をいかに楽しくできるのかベストな答えを出して最終的にははじめの気持ちを忘れちゃうくらい良い一日にできるようにしたいです。そして私は今回の講演会で色々な人について知り、色々な事があるのだとわかりました。1番は比田井さん。講演会で初めて知りましたが、もう私の中では人生というそのものや自分の考えを深めてくれたり自分の持っているものとは別の捉え方を教えてくれるヒーローになりました。(1年生)

私はヒダカズ先生の講演を聞いて、「人生は自分次第で何とかなる。」という言葉が一番印象に残りました。以前は、何か残念なことや悲しいことがあった時に、全部「運が悪かった。」とかで終わらせてしまっていたけれど、自分の考え方で「残念なこと」が「良いこと」に変わることに気付いたので良かったです。また、「心は自分の声を全て聞いている」という言葉も心に残りました。当たり前なことなのに、改めて聞いて共感しました。「心は自分の声を全て聞いている」からこそ、できるだけポジティブなことを考えて、自分で自分の明るい心を作っていきたいと思います。

…ヒダカズ先生がおっしゃっていた「何が起きても想定内」という言葉を聞いて納得したし、これからはこの言葉を心に刻んで、何事にもチャレンジしていきたいです。(2年生)

今まで、「やり方」のみに目を向けていた。しかし、やり方ではなく「あり方」に注目して考えると、中心となっていたことが大きく変わらと思った。どんなに必死でがんばっても、自分の理想像がはっきりしていなければ、ほとんど意味はないと思う。しかし、理想像、目的がはっきりしていれば、それにあった「やり方」がはっきりしてくると思った。例えば、「自分は才能がない」などと逃げては、いつまでたっても上手くならないと分かり、それよりも「才能がなくても、目的があるからがんばる」現状を受け入れ、そこから伸びていくのが良いとわかった。まさに「思ったようになる」と思い、そのような姿になるためにできることをしたいと思った。

(1年生)

これまで自分はたくさん勉強すればその頑張りが報われていい大学に行けると思っていたのですが、この講演を聞いて、勉強はもちろん重要ですが、その後の大学に入ったあとどうするかという点に人生を楽しく生きるコツがあるという考えに変わりました。また、この講演でたくさんの人の考えを知ることができて、自分の人生観が大きく変わったと思います。

特に過酷な環境で世界一周レースをしている人の考えを聞くと自分の失敗などで自分の人生の主導権を渡してはいけないのだと言うことを感じました。

(1年生)

(印象に残った話は)冒険家Sさんの話です。「抵抗していると振り回される。受け入れると主導権を握れる。」「見事な負けっぷりを見せる。」かっこ良すぎるなあ、と思いました。自分の人生は自分が主役だと、失敗しても勇気を出して受け入れる、何事も楽しむ心、寛容な心、ポジティブな心をもっているSさんは、私の憧れの人の一人になりました。

(2年生)

私は優柔不断なところがあって、何か選択をしても、こうしていれば良かったと思うことがよくありました。また、苦しいことがあったらすぐ悲観的になって自分の生き方がつまらないなども時々思っていました。そんな風に、自分の性格で嫌いなことはたくさんあるけれど、今回の講演を聞いてたくさんことを学びました。「ベストな選択」なんて存在せず、存在するのは「選んだ道をベストにする一日」と聞いて、何だかほっとしたのと同時に、もっとこの一日一日を大切に生きていかなければならないと思いました。私は思い通りにいかないことがよくあるので、どれだけ悔しい失敗をしてもネガティブになりすぎずに、心を変える、そして堂々とした負けっぷりであることが大切だと学びました。

(3年生)

